

# 解剖体新書展

ニッポンの「医」の歩み1500年

History of Asian Medicine and Healing

会期:2016年1月9日~4月10日

東洋文庫

同時開催  
北里柴三郎記念展示  
シーボルト没後150年記念展示

東洋文庫ミュージアム

- 〒113-0021 東京都文京区本駒込2-28-21 TEL: 03-3942-0280
- 入館料 ◆ 900円(一般)・800円(シニア)・700円(大学生)・600円(中・高校生)・290円(小学生)
- アクセス ◆ 駒込駅 (JR山手線南口、東京メトロ南北線2番出口) 徒歩8分、  
千石駅 (都営地下鉄三田線A4番出口) 徒歩7分
- 開館時間 ◆ 10:00~19:00 ※入館は閉館の30分前まで
- 休館日 ◆ 毎週火曜日(ただし火曜日が祝日の場合は次の平日)
- 主催 ◆ 公益財団法人 東洋文庫
- 共催 ◆ 学校法人 北里研究所
- 後援 ◆ 公益社団法人 日本医師会、一般社団法人 日本医史学会、熊本県阿蘇郡小国町

Toyo Bunko Museum

# 解体新書展

大村 智氏 (2015年ノーベル生理学・医学賞受賞) 推薦

## 「歴史は将来に向けての道標である」

1774年、杉田玄白らはオランダ語の解剖書『ターヘル・アナトミア』の翻訳を成し遂げ、『解体新書』を刊行しました。同書が日本の医学・医療の発展に多大な貢献を果たしたことはよく知られますが、この一大翻訳事業は同時代の日本の医師と学者に相応の知識があったからこそ実現をみたのです。

本展は、古代から近代にいたる日本の「医」の確かな歩み、約1500年を振り返ります。それは、曲直瀬道三、貝原益軒、華岡青洲、北里柴三郎など日本の医学史上の巨人たちの足跡にも重なります。また、本年が没後150年にあたるドイツ人医師シーボルトの特集展示も同時開催となります。いずれも、他に類をみない東洋文庫の誇る医学書コレクションです。



『解体新書』

杉田玄白ほか訳 1774年刊 初版



『ターヘル・アナトミア』

クルムス 1722年刊



『麻疹退治の図』

歌川芳藤 1862年



『内景図』

制作年不明

### 講演会

◆1月9日(土)

塚原 東吾 (神戸大学教授)

「東洋文庫収蔵の医学史コレクションについて  
〈からだ〉と〈いのち〉の知、東西交流の軌跡」

◆1月31日(日)

酒井 シヅ (順天堂大学名誉教授)

「『解体新書』その魅力と注目すべきこと」

◆2月20日(土)

飯島 渉 (青山学院大学教授)

「日中医学交流秘話-1950年代の医学者の相互訪問をめぐって」

◆3月5日(土)

今橋 理子 (学習院女子大学教授)

「絶学の人-解体新書の画家・小田野直武と秋田蘭画」

※いずれも14時開始、要事前申し込み

### アカデミア特別講座

塚原 東吾 (神戸大学教授)

1月11日、18日、25日(全3回) 18時~19時30分

※上記の他にも講演会、ワークショップ等のイベントを予定しております。お申込み方法とあわせて、詳細はホームページにてお知らせいたします。



『日本植物誌』シーボルト 1826-70年

シーボルト  
没後150年  
記念展示



北里柴三郎愛用の顕微鏡  
カール・ツァイス社 1890年製  
(学校法人 北里研究所 所蔵)

北里柴三郎  
記念展示

### 同時開催

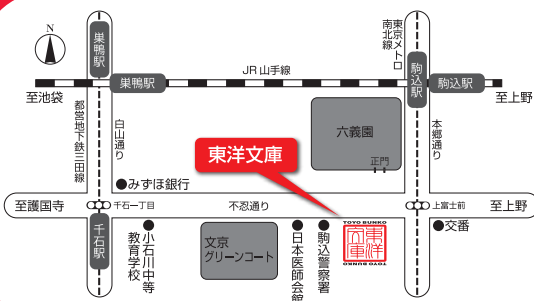
## 記録された記憶~東洋文庫の書物からひもとく歴史



国宝『春秋経伝集解』  
1139年写(平安時代)



初公開! 『東海道五十三次(鳥屋版)』  
歌川広重 1848~1854年



交通案内:  
駒込駅 (JR 山手線南口、東京メトロ南北線 2番出口)  
徒歩 8分  
千石駅 (都営地下鉄三田線 A4 番出口) 徒歩 7分

TOYO BUNKO  
東洋文庫

〒113-0021 東京都文京区本駒込 2-28-21  
TEL : 03-3942-0280  
<http://www.toyo-bunko.or.jp/museum/>

◆あわせてご利用ください

\*ミュージアムショップ  
「マルコ・ポーロ」  
(10:00 ~ 19:00)  
\*レストラン  
「オリент・カフェ」  
(11:30 ~ 21:30)